

# 柏市(首都圏ブロック)

【2期 計画期間 平成26年4月～31年3月】

・東京都心から30km圏に含まれ、JR常磐線・東武野田線、国道6号・16号が通っており、交通の要衝となり、また、首都圏のベッドタウンとして発展し、昭和48年の再開発事業完成を契機に広域商業拠点都市へ発展した場所である。  
・現在も商業、公共公益施設をはじめ多くの都市機能が集積するとともに、二つの鉄道路線に加え、多くのバス路線の結節点となっており、社会的、経済的活動の中心的な役割を担っている。 人口約40.6万人 面積約115km<sup>2</sup>

## 【1期計画の概要】

○「若者のまち」の特性を活かしつつ、再開発による回遊拠点の形成や、ペDESTリアンデッキの改修・バリアフリー化を進め、「あらゆる世代に対応する」広域商業拠点としてのまちづくりを行う。(計画期間:平成20年4月～平成26年3月)

## 【中心市街地の変化】

○柏駅東口A街区第二地区第一種市街地再開発事業や柏駅東口歩行者専用嵩上式広場改良事業により駅前のイメージが改善され、まちなかの魅力向上とエリア内への歩行者の流れの改善に貢献している。

○小売販売額、歩行者通行量については下げ止まりをみせるものの、郊外型大型店舗の進出や、東日本大震災による風評被害もあり、基準値を下回る結果となってしまった。



## 【目指す中心市街地像】

**柏市の表玄関にふさわしいにぎわいの回復、楽しく憩える魅力の創出**

## ■1期計画の目標

目標	指標	基準値	目標値(H25)	最新値
商業の活性化	年間小売販売額	1,434億円(H18)	1,500億円	1,206億円(H24)
まちなかの回遊性の向上	休日歩行者通行量	84,941人(H18)	90,000人	77,162人(H24)
まちなかの魅力の向上	滞留時間(時間/人・日)	144分(H18)	174分	138分(H25)

## ■2期計画の目標

目標	指標	現況値	目標値(H30)
にぎわいがあり暮らしやすいまち・柏	年間小売販売額	1,206億円(H24)	1,477億円
安全に回遊できる楽しいまち・柏	休日歩行者通行量	77,162人(H24)	85,200人
楽しく憩えるまち・柏	滞留時間(時間/人・日)	138分(H25)	167分

### にぎわいがあり暮らしやすいまち

【主要事業】

- ・柏駅東口D街区第一地区第一種市街地再開発事業
- ・柏駅周辺地区と柏の葉地域との連携プロジェクト事業
- ・保育園整備事業

など

### 安全に回遊できるまち

【主要事業】

- ・インフォメーションセンター事業
- ・柏駅東口歩行者系都市計画道路整備事業
- ・二番街プロモーション事業

など

### 楽しく憩えるまち

【主要事業】

- ・柏駅周辺活性化イベント事業
- ・柏市民活動センター運営事業
- ・柏駅西口北地区市街地再開発事業

など

# 柏市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## にぎわいがあり暮らしやすいまち

### ① 柏駅東口D街区第一地区第一種市街地再開発事業

商業施設、市民活動センターや市民ギャラリー等、あらゆる世代のニーズに対応した拠点施設やファミリー向け住宅を整備。



### ② 柏駅周辺地区と柏の葉地域との連携プロジェクト事業

柏市の商業拠点である柏駅周辺地区と柏の葉地域の2拠点間で買い物バスを運行。

### ③ 保育園整備事業

認可保育園を新・増設し、待機児童の解消を図る。



## 安全に回遊できるまち

### ④ インフォメーションセンター事業

NPOによるまちづくり活動や来街者へのまちの情報提供を行う。



### ⑤ 柏駅東口歩行者系都市計画道路整備事業

柏駅東口D街区第一地区第一種市街地再開発事業に併せ、元町通り線、中通り線、南通り線、小柳町通り線を整備。



### ⑥ 二番街プロモーション事業

柏駅東口側の商店街アーケードを活用し、中心市街地内のイベントや各店舗の情報を発信。

## 楽しく憩えるまち

### ⑦ 柏駅周辺活性化イベント事業

集い・交流の場として音楽、アート、手作り市等、各種イベントを開催。



アートラインかしわ



音街つく天国



手づくりての市

### ⑧ 柏市民活動センター運営事業

市民公益活動に関する情報の提供、相談、コーディネート、場の提供を行う。



### ⑨ 柏駅西口北地区市街地再開発事業

商業施設やクリニック、福祉施設等の生活サービス機能と居住空間を複合的に配置。

